

1. 件 名：訓練のあり方及び規制の関与の検討に係る試行について

2. 日 時：令和5年2月20日 16:30～17:00

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者（テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁

緊急事案対策室

川崎企画調整官、澤村防災専門官、反町専門職、宮田専門職

実用炉監視部門

菊川管理官補佐

専門検査部門

岡村検査官

核セキュリティ部門

廣瀬管理官補佐

北陸電力株式会社

原子力本部 原子力部 原子力防災チーム 副課長 他1名

中国電力株式会社

電源事業本部 原子力運営グループ 副長 他2名

九州電力株式会社

原子力発電本部 原子力防災グループ グループ長 他3名

5. 要 旨

九州電力から、2023年2月の玄海原子力発電所で実施する事業者防災訓練において試行する「支援組織との連携訓練（原子力災害対策支援拠点訓練の充実）」について、資料1に基づき説明があった。

原子力規制庁から、今回、前回の面談からより具体化された達成基準を用いて訓練を評価することを承知した旨を伝えた。

6. その他

配布資料：

資料1 緊急時対応組織の実効性の向上に係る評価指標案における玄海総合訓練時の対応（案）（九州電力株式会社）